



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月6日

上場会社名 日本伸銅株式会社  
コード番号 5753 URL <http://www.nippon-shindo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 誠  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 木本 道隆

TEL 072 229 0346

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,231	34.2	187	40.4	93		66	
2020年3月期第1四半期	4,910	12.9	315	6.3	442	49.3	297	48.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	28.06	
2020年3月期第1四半期	126.13	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	11,522	8,205	71.2	3,477.17
2020年3月期	11,607	8,251	71.1	3,496.28

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,205百万円 2020年3月期 8,251百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.00		5.00	10.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、開示しておりません。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	2,370,000 株	2020年3月期	2,370,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	10,147 株	2020年3月期	10,031 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,359,915 株	2020年3月期1Q	2,360,170 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、引き続き、業績予想の開示を未定とさせていただきます。なお、今後、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(追加情報) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言により、経済活動が大幅に縮小したため、景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。当社の主要原材料で国際相場商品である銅の国内建値は、中国の景気が回復しつつあることと、感染拡大でチリの鉱山の操業が一部停止したため、上昇に転じました。

当社では、需要の減少に対して、臨時休業日を設け、雇用調整助成金を受給しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、感染拡大の影響により、販売数量が5,005トン（前年同期比22.9%減少）となり、売上高は32億31百万円（同34.2%減少）となりました。収益面につきましては、販売数量の減少等から営業利益は1億87百万円（同40.4%減少）となり、銅相場が上昇したことで、相場リスクをヘッジするためのデリバティブ取引で損失が発生したため、経常損失93百万円（前年同期は経常利益4億42百万円）、四半期純損失66百万円（前年同期は四半期純利益2億97百万円）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

## (伸銅品)

当社の主力製品である伸銅品は、感染拡大の影響により、販売数量4,804トン（前年同期比23.7%減少）、売上高は、販売数量が減少し、27億8百万円（同35.2%減少）となりました。

## (伸銅加工品)

伸銅加工品においては、感染拡大の影響により、売上高は2億41百万円（前年同期比7.3%減少）となりました。

## (その他の金属材料)

その他の金属材料は、感染拡大の影響により、伸銅品原材料の転売が主で、売上高は2億81百万円（前年同期比40.1%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は85億7百万円となり、前事業年度末と比べ1億58百万円減少しました。これは主に現金及び預金が6億83百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が5億7百万円、流動資産のその他が2億53百万円減少したことによるものであります。固定資産は30億14百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円増加しました。

この結果、資産合計は115億22百万円となり、前事業年度末に比べ85百万円減少しました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は29億7百万円となり、前事業年度末と比べ27百万円減少しました。これは主に流動負債のその他が1億99百万円増加したものの、未払法人税等が2億82百万円減少したことによるものであります。固定負債は4億9百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円減少しました。

この結果、負債合計は33億16百万円となり、前事業年度末と比べ39百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は82億5百万円となり、前事業年度末に比べ45百万円減少しました。これは主に四半期純損失66百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は71.2%（前事業年度末は71.1%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言は解除されたものの、現時点では収束時期の見通しが立たず、第2波の影響等も不確定であるため、当社の業績予想の算定が困難な状況が続いております。今後、業績予想の合理的な算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,203	1,887
受取手形及び売掛金	3,236	2,728
電子記録債権	1,999	1,907
商品及び製品	681	641
仕掛品	789	834
原材料及び貯蔵品	480	485
その他	275	22
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,665	8,507
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,078	2,078
その他（純額）	472	499
有形固定資産合計	2,550	2,577
無形固定資産		
投資その他の資産	7	7
その他	383	430
投資その他の資産合計	383	430
固定資産合計	2,941	3,014
資産合計	11,607	11,522
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	916	1,027
短期借入金	1,400	1,400
未払法人税等	291	9
賞与引当金	91	35
その他	235	435
流動負債合計	2,934	2,907
固定負債		
退職給付引当金	25	27
その他	395	381
固定負債合計	421	409
負債合計	3,356	3,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金	290	290
利益剰余金	6,371	6,293
自己株式	△17	△17
株主資本合計	8,239	8,160
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12	44
評価・換算差額等合計	12	44
純資産合計	8,251	8,205
負債純資産合計	11,607	11,522

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	4,910	3,231
売上原価	4,416	2,877
売上総利益	493	354
販売費及び一般管理費	178	166
営業利益	315	187
営業外収益		
受取配当金	6	3
デリバティブ利益	50	—
デリバティブ評価益	71	—
雇用調整助成金	—	4
その他	1	1
営業外収益合計	129	9
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	0	0
デリバティブ損失	—	102
デリバティブ評価損	—	187
その他	0	0
営業外費用合計	1	291
経常利益又は経常損失（△）	442	△93
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	442	△93
法人税等	144	△27
四半期純利益又は四半期純損失（△）	297	△66

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）「会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。